

氏名（年齢） 竹上 謙次（58歳）

所属・職名 済生会松阪総合病院 整形外科 リハビリテーション科 部長 脊椎センター センター  
長

#### 受賞の感想と今後の抱負

吉田壽記念三重医学研究振興賞を頂くことができ誠に光栄に思います。地域の脊椎外科の基幹病院として地道に診療を行ってきたことが評価され今回の受賞となったと考えており、非常にうれしく思っております。今後も地域に根付いた診療を継続し、三重県の脊椎外科診療の向上と発展に全力で貢献していくつもりです。

#### 受賞テーマ

「脊椎外科領域において地域の基幹病院として手術療法及び保存療法を多数の症例に行い、また病診連携をおこなし地域医療に貢献」

#### 臨床医学（診療）分野において成し遂げた顕著な業績

脊椎外科領域において地域の基幹病院として手術療法及び保存療法を多数の症例に行い、また病診連携を行い地域医療に貢献してきました。

内視鏡下手術を腰椎疾患（主に椎間板ヘルニア）対して取り入れ、低侵襲な治療を行ってきました。

症例検討会や研究会を通して、三重県における整形外科・脊椎外科医のレベルアップに貢献しています。

#### 業績の概要と将来展望

##### 概要

・手術について、

全例に執刀医または指導医として参加しています。3年連続100件以上の手術件数があり、脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設に認定されています。

・内視鏡下手術について、

内視鏡下手術は小皮切で低侵襲である手術方法ですが、技術的に困難な面がありラーニングカーブがある手術として知られています。三重県では脊椎内視鏡下手術の普及が他府県よりも遅れている傾向があります。2010年より内視鏡下手術を導入し、手術見学など自己研鑽を積み現在まで384件の手術を行っております。インシデントレベル3b以上の合併症などは起こっていません。内視鏡下手術では術後平均在院日数は5.6日であり、200例は術後4日目で退院し、早期社会復帰に貢献しています。

・保存療法について

手術適応のうちの一つの要件として、保存療法に抵抗性であることがあります。術前に保存療法を受けていない症例に対しては、診療所に紹介し保存療法をしていただいています。また適切な保存療法を受けた後での紹介症例においても、通常診療所が行っていない神経ブロックの適応があれば、行っています。腰椎椎間板ヘルニア症例などに現在まで2006回行い、多くの症例で手術を回避してきました。当院

での初期の成績では約半数の症例が手術を回避できており、2007年に松阪外科系連合会で報告しました。

・病診連携について

現在まで5400件の紹介をいただいています。紹介数が多いのは診療所医師とのキャッチボールを大切にしているためと考えております。当初の紹介なし患者さんにおいては必要な検査を行い、保存療法の適応があれば診療所に理学所見、画像所見などすべてと、必要があれば保存療法のアドバイスも紹介し、無効であれば再紹介を依頼しています。紹介症例であれば手術を行ったときには手術後MRI後に、手術を行わないときには紹介しない患者さんと同様な紹介を行っております。現在では整形外科以外の領域の先生からもたくさんの紹介を受けており、また交通事故後の難治症例など診療所で困るような紹介も多く受けています。紹介のやり取りを通して地域医療に貢献して来たと考えております。

・症例検討会 研究会について

三重大学整形外科脊椎班では1990年代から2-3か月ごとに難治症例や問題症例を検討する症例検討会が大学主催で行われています。済生会赴任時よりほぼ皆出席で症例提示や意見を出し合いレベルアップを図っています。またみえ脊椎を語る会は2008年より夏セミナーを行い、研修医、若手医師に広く脊椎外科の知識を広めるために行われ講師を5年間行いました。その後は豚脊椎、模擬骨を用いた技術力アップや脊椎外科に興味を持つような会となりましたが、技術指導者の一人として、2019年まで参加しました。2020年以降はコロナで休会となっています

将来展望

これまで、三重大学整形外科の先輩方のご指導を受け、臨床経験を積み、学会活動、論文執筆活動等にも励んで来ました。済生会松阪総合病院へ赴任後も多くの脊椎疾患の症例に関わり、松阪地区、中南勢地区の医療圏では脊椎外科医として、信頼される医師の一人に成長したと自負しています。多くの症例を重ねたことにより、済生会松阪総合病院は脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設に指定されており、脊椎外科医を目指す若手の医師の育成に更に力を注ぐ事を今後の目標としています。

本業績における実績

2007年4月-2022年7月

	手術件数	内視鏡下手術	神経根ブロック	紹介患者数
総数	2013	384	2060	5400
年	手術件数	内視鏡下手術	神経根ブロック	紹介患者数
2022	102	25		245
2021	177	32	86	455
2020	177	41	139	426
2019	171	45	184	567
2018	148	30	199	512
2017	165	30	178	451
2016	150	31	107	377
2015	163	39	92	342
2014	150	31	145	354

2013	143	29	130	280
2012	128	23	113	299
2011	112	19	136	284
2010	72	9	128	296
2009	75		157	191
2008	67		175	186
2007	19		91	135

## 略称

## 学歴

1989年3月31日 三重大学医学部卒業

1993年4月1日 三重大学医学部大学院入学

1997年3月31日 三重大学医学部大学院卒業

## 職歴

1989年6月 三重大学医学部附属病院 整形外科 研修医

1990年6月 国立津病院 整形外科 研修医

1991年4月 三重県立志摩病院 整形外科 医員

1993年4月 村瀬病院 整形外科 医師

1997年4月 三重大学医学部附属病院 整形外科 助手

1997年12月 米国 ラッシュ医科大学 整形外科、生化学 ポスドク

1999年12月 三重大学医学部 整形外科 助手

2003年4月 大門病院 整形外科 部長

2003年4月 榊原温泉病院 整形外科 医長

2004年7月 四日市社会保険病院 整形外科 部長

2005年6月 静岡市立静岡病院 整形外科 科長

2007年4月 済生会松阪総合病院 整形外科 リハビリテーション科 部長

2012年5月 済生会松阪総合病院 脊椎センター センター長

## 専門分野

整形外科 脊椎外科

## 医学博士、専門医資格など

医学博士（三重大学 1998年）日本整形外科学会 専門医、日本整形外科学会 認定脊椎脊髄病医、日本脊椎脊髄病学会 脊椎外科指導医、脊椎脊髄外科専門医、義肢装具等適応判定医、臨床研修指導医  
中部日本整形災害外科学会 評議員、東海脊椎外科 幹事、みえ脊椎を語る会 幹事